



令和4年が始まりました。今年もよろしくお願いいたします。学校ではまた、子供たちの元気な声が聞こえています。学級では子供たちがそれぞれ、今後の目標を確認し、決意を新たにしました。保護者の皆様におかれましても、お子様への励まし、見守りを願います。また、引き続き、各ご家庭での感染防止に向けた取組、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

【学校行事】

○ 5年チョークアート 12月6日（月）

遅れての報告になってしまいましたが、5年生において、チョークアートの先生に来ていただき「チョークアート」授業を行いました。子供たちは慣れないオイルパステルを使い、見たえのある作品を仕上げていました。



（芝 真恵 先生 の作品）



○ ICT支援（各学級）

各学級において、タブレットを活用した授業が進んでいます。子供たちは覚えるのも早く、もういろいろな使い方をマスターしています。朝の学習の時間にもドリルを進めたり、調べ学習をしたりはもちろんですが、動画をとって見直す、デザインを考える、レポートをまとめるなど行っています。旭市教育委員会からもICT支援員さんが毎日ではありませんが授業に入ってくださり、使い方や授業の進め方などの支援をしてくださいます。今後さらに活用するために、保護者の皆様にもご協力をお願いすることがあると思いますが、よろしくお願いいたします。



《学校教育目標》

自ら学び、心豊かでたくましく、ともに助け合う児童の育成

○ 駐車場について

今年に入り、これまで砂地、草地などで走りづらさがあった三川小の北側駐車場を整地していただきました。そこで再度お願いがあります。三川小の駐車場を利用する場合は、北側信号から入り、駐車場へ入ります。駐車場から出るときは、東側へ出ていく一方通行での利用になります。道路が狭いのでご協力をお願いします。

また、学校行事で混雑が予想されるときや、引き渡しによる下校のときは、駐車場から出る場合、南側の通用口から校舎敷地内へ入り体育館東側を通り、三川小の東側道路へ出ていただくことになっていますので、再度確認をお願いします。

さらに、児童の送迎をする場合ですが、昇降口付近まで、もしくは昇降口から付き添っていただけると幸いです。安全に利用していただくために、ぜひお願いします。

《子供のほめ方》 子供をほめる＝子供の言動を価値づける。認める。

子供をほめるといっても結構難しく感じることもあるのではないのでしょうか。私事ですが、振り返ると、息子に対して、「ほめて伸ばす」ことは分かっているのにその機会を見逃してしまうことが多々ありました。叱るほうが多かったかもしれません。

では、どのようにほめるとよいのでしょうか。ある教育書を見ると、「何」をほめるかは、「行動」や「しようとしたこと」、結果としてうまくいかなくてもその過程を認めるとよいとのこと。また、「望ましい姿」などもほめるとその姿を目指すようになるようです。「誰」がほめるかも、「〇〇さんがすばらしいといっていたよ」と間接的にもいろいろな人にほめてもらうことがよいそうです。

みんなの前でほめられたいのか、こっそり言ってほしいのかも個人差があるようです。

細かく考えてしまうとさらに難しくなってしまうようですが、笑顔で「さすがだね」だけでもお互いにうれしくなってきました。



☆読書賞☆ ～たくさん本を読みました～

3年 青柳 希依さん

4年 林 愛翔さん 加瀬 香陽さん 宇井 潤奈さん 森田 愛海さん
伊藤 千晴さん 大川 琉花さん 林 桃花さん 細貝 蒼人さん

○ 新しい生活様式について

新年を迎えたばかりですが、巷では新型コロナウイルス感染が拡大しつつあります。学校では文部科学省からの「衛生管理マニュアル」や旭市教育委員会からの「小・中学校の教育活動等について」の内容を踏まえ教育活動を行っています。今後の活動の細かい内容については、通知の配付やメール配信などでお知らせしていきます。急なお願いをすることになるかもしれませんがご協力をお願いします。

本校の対策といたしましては、検温や手洗いを中心に、これまで同様3密を避けていくとともに、集団感染のリスクをできるだけ減らしていきます。現在は朝の健康チェックなど、ご家庭のご協力をいただいているところですが、引き続きお願いいたします。